

2018年度下期美浜発電所3号機事故の 再発防止対策の取組状況について

2019年6月5日

関西電力株式会社

➤ 経 緯

- ・ 当社は、美浜3号機事故の反省を踏まえ安全最優先の事業運営を行ってきたが、東京電力福島第一原子力発電所事故から、原子力発電固有のリスクへの認識や向き合う姿勢が十分でなかったことを学び、安全性向上に向けた取り組みをより一層強化すると共に、**改めて美浜3号機事故再発防止対策を風化させないことの重要性を確認。**
- ・ その中で、**美浜3号機事故再発防止対策とロードマップを、品質方針に基づく5つの枠組みに平成28年度下期以降、整理・統合**することとし、その旨、平成28年度上期ロードマップ進捗報告書にて公表。（2016年11月10日）
- ・ 第11回原子力安全検証委員会（2016年11月14日）にて、**統合後においても「再発防止対策が風化することなく、自律的に取組まれているか。」との観点から、美浜3号機事故再発防止対策については従来どおり検証**していく旨、改めて確認された。

➤ ご報告事項

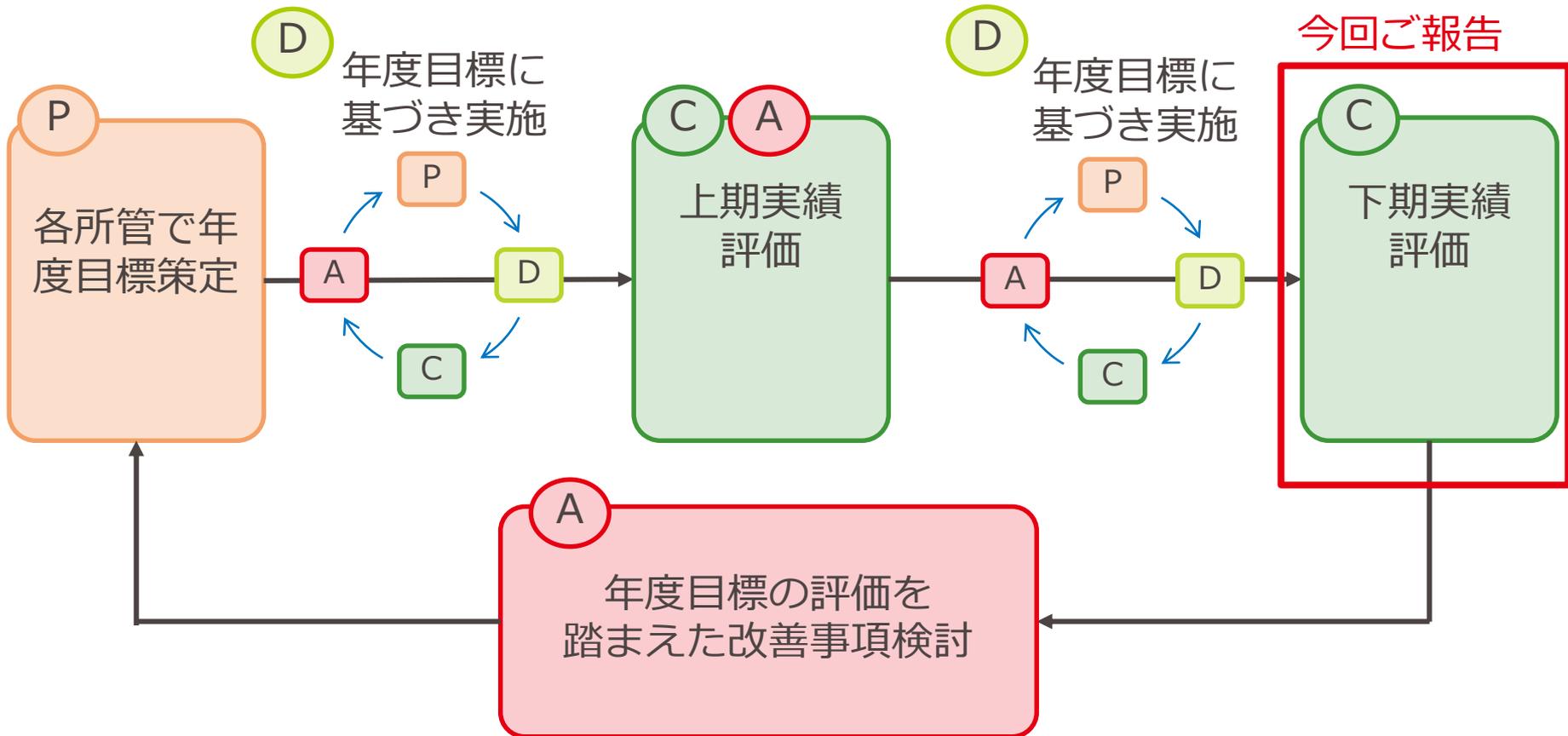
- ・ **美浜3号機事故再発防止対策が、風化することなく、各所で改善しながら自律的に取組まれていること**をご報告させていただく。

- ✓ 共通する「安全最優先」の理念の下に取り組んでいた自主的安全性向上ロードマップと美浜3号機事故再発防止対策に関して、2016年度以降これら2つを発展的に整理。

自主的安全性向上ロードマップにおける5つの柱		
1	<p>安全最優先の理念の浸透および定着</p> <p>品質方針① 安全を何よりも優先します</p>	<p>自主的安全性向上取組み</p> <p>美浜3号機事故再発防止対策【1】～【7】</p>
2	<p>安全性向上に関する基盤整備</p> <p>品質方針② 安全のために積極的に資源を投入します</p>	<p>美浜3号機事故再発防止対策【8】【11】～【17】【24】</p>
3	<p>安全性向上に関する活動の実施</p> <p>品質方針③ 原子力の特性を十分認識し、リスク低減への取組みを継続します</p>	<p>美浜3号機事故再発防止対策【9】【18】【20】【24】</p>
4	<p>リスクマネジメントをはじめとするマネジメントシステムの確立・改善</p> <p>品質方針③ 品質方針⑤ 安全の取組みを客観的に評価します</p>	<p>美浜3号機事故再発防止対策【10】【19】【21】～【23】【29】</p>
5	<p>コミュニケーションの充実等</p> <p>品質方針④ 地元をはじめ社会の皆様とのコミュニケーションを一層推進し、信頼の回復に努めます</p>	<p>美浜3号機事故再発防止対策【25】～【28】</p>

美浜発電所 3号機事故再発防止対策のPDCAサイクル

- ✓ 美浜発電所 3号機事故再発防止対策は、各年度の初めに年度目標を設定し、半期毎に進捗を確認している。
- ✓ また、年度が終われば、年度目標の評価を踏まえ、次年度の計画を策定することでPDCAを回している。



美浜発電所 3号機事故再発防止対策の実施状況 (1/3)

○各所にて活動計画を策定し、確実な再発防止対策を実施している

	2018年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
再発防止対策 実施状況の確認	品質目標設定 活動計画策定		▼(6/1) 原子力安全 検証委員会			▼(10/30) ▼(11/26) 原子力安全 推進委員会 原子力安全 検証委員会			(3/18)▼ マネジメントレビューにて 社長へ報告			
	▼(5/14) 年度計画の確認					上期実績評価 (事業本部) (各発電所)			年度実績評価 (事業本部) (各発電所)			
対策の 実施状況	<p>▼(8/9) 安全の誓いの日 (黙祷、職場ディスカッション 等)</p> <p>日常業務における 再発防止対策の実施</p> <p>計画的に幹部、第一線職場および協力会社とのコミュニケーションを実施 (膝詰め対話 等)</p> <p> 協力会社とのキーパーソン対話 大飯・高浜:9/11、美浜:9/28 協力会社とのキーパーソン対話 美浜:2/4、大飯・高浜:2/13 </p> <p> 原子力事業本部幹部との膝詰め対話 大飯9/14、高浜:9/21、美浜:10/10 原子力事業本部障障及の膝詰め対話 大飯2/26、高浜:2/21、美浜:2/20 </p> <p>計画的に研修を実施 (新任役職者研修、法令等に関する研修 等)</p> <p> 危機意識を高める事例研修(eラーニング) : 9/3~10/14 原子力部門マネジメント研修 : 2/12 品質保証中級研修:7/13,7/24,11/27 等 </p> <p>▼ 「安全の誓い」の日の取組み等に 関する社員アンケートの実施 (8/10~8/24)</p>											

- ✓ 2019年度下期における美浜発電所 3号機事故再発防止対策は、各実施項目において、設定した活動計画を達成。
- ✓ 引き続き社会環境の変化等を踏まえながら、美浜発電所 3号機事故再発防止対策に取り組んでいく。

美浜発電所 3号機事故再発防止対策の取組みにおける事例

【1. 安全を何よりも優先します。】

○当社の安全に関する取組みのさらなる浸透のための活動

- ・協力会社アンケートの結果や、発電所に新規入構者が大幅に増加している状況を踏まえ、発電所における当社の安全最優先の方針を共有するため、従来の取組みに加え、当社の品質方針を安全衛生協議会加盟各社の朝礼の際に活用してもらうこと等を実施。

○膝詰め対話でのご意見を踏まえた改善活動

- ・膝詰め対話において、発電所の外部電源停電作業に関して、安全を確保するための提言があったことを受け、送配電カンパニー、発電所、原子力事業本部の3者で工事期間中の安全確保について改めて確認を行い、今後も作業計画にあたり密なコミュニケーションを図ることを相互で認識あわせを実施。



【2. 安全のために積極的に資源を投入します】

○高浜発電所・美浜発電所 安全対策工事完遂のための要員確保

- ・ピークを迎えている高浜発電所・美浜発電所の安全対策工事において、当社社員による現場の安全確認（リスクアセスメント・現場パトロール等）を確実に実施するために、大飯発電所や原子力事業本部等から要員応援、火力事業本部からの多数の要員応援等を流動的に実施。

○大飯発電所 3, 4号機 初回定期検査に向けた対応

- ・新規制基準適用後は、点検設備の増加、発電所内の運用変更など、これまでの定検とは異なる点が多いため、初回定期検査を円滑に遂行するため協力会社の方も含めた「定検工事調整会議」を設置し課題を抽出。
協力会社からの意見・要望の抽出を行い、安全に作業を行う上で必要な点検スペースを確保するための設備改造、構外駐車場の確保、警備員の増員等、資源を投入し、円滑に業務に取り組んでいただけるよう環境を整備。

○社長の宣言

「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」

○基本行動方針

- ①安全を何よりも優先します。
- ②安全のために積極的に資源を投入します。
- ③原子力の特性を十分認識し、リスク低減への取組みを継続します。
- ④地元をはじめ社会の皆さまとのコミュニケーションを一層推進し、信頼の回復に努めます。
- ⑤安全への取組みを客観的に評価します。

5つの基本行動方針を具体化かつ明確化

美浜発電所3号機事故 再発防止に係る行動計画

1. 経営計画における安全最優先の明確化と浸透
2. 労働安全活動の充実
3. 発電所保守管理体制の増強等
4. 積極的な資金の投入
5. 安全の確保を基本とした工程の策定
6. 教育の充実
7. 2次系配管肉厚管理の確実な実施
8. 計画、実施、評価等の保守管理を継続的に改善
9. 監査の充実
10. メーカー、協力会社との協業
11. 原子力事業運営の継続的な改善
12. コミュニケーションの充実
13. 地域との共生
14. 安全への取組みの確認と評価

行動計画(H17.3策定)を確実に実施するため、実施内容やスケジュール等をより具体化した**再発防止対策(29項目)の実施計画を策定**した。(H17.6公表)

再発防止対策の**全ての項目は実施段階に移行**し(H17.10)、全ての項目の**歯止め化も完了**した(H23.3)。現在は、自律的に継続的改善を進めながら、日常業務として取組んでいる。現状の取組みを踏まえ記載の見直しを実施した。(H28.3)

美浜発電所 3号機事故 再発防止対策を実施し、確認・評価する仕組み

